



第7号 平成30年9月発行

水明会通信 スワン

麻疹（はしか）について

佐潟荘 診療部長/内科医 上村 明子

今年の3月に沖縄県から麻疹の感染症が全国に拡大しました。発端は海外からの観光客が日本で麻疹を発症したからです。約1か月の間に70名程の人に麻疹の感染が拡大しました。すごい勢いです。麻疹は空気感染する感染症で同じ部屋に居たり、空調が同じ場所に居ただけで感染することがあります。知らないうちに感染してしまうのです。今回の流行は6月になってから感染者は減少し終息してきています。

日本では麻疹の予防接種の義務化、麻疹患者の詳細な発生動向の把握により土着のウイルスは2010年5月を最後に検出されなくなりました。これにより、2015年WHOにより日本が麻疹の排除状態にあると認定されました。それ以降に発症する麻疹は海外からの持ち込みウイルスです。海外（特に中国、インド、東南アジア）ではまだ麻疹感染が流行しています。

麻疹の症状は、カタル期、発疹期、回復期と経過していきます。カタル期は麻疹ウイルス感染後10-12日の潜伏期を経過して、38度の発熱、全身倦怠感、咳、鼻水、咽頭痛、結膜炎、軟口蓋（口の中の上のほう）の白斑が出現します。重症なかぜのような症状です。2-4日経過すると半日くらい熱が下がり再び39度の発熱と耳後部、頸、額から始まり全身に小さな点状の淡い赤い斑点のような発疹が出現します。発疹が全身に広がるまで3-4



重要なのは麻疹にかからないこと。予防を心掛けましょう。

日39度以上の高熱が続きます。それを過ぎると回復期になり、解熱し、発疹も退色し始め7-10後には回復します。ただし、合併症を発症する人もいます。重篤な合併症は肺炎と脳炎です。命に係わる場合もありますし、脳炎だと後遺症を残すこともあります。また重篤な合併症の1つで亜急性硬化性全脳炎という疾患もあります。これは麻疹ウイルスが長い期間中枢神経に感染し続けることにより発症します。麻疹感染後4-8年位経過してから発症します。麻疹患者の10万例に1人の発症頻度です。知能障害、運動障害などの症状が徐々に進行していきます。麻疹の有効な治療法はありません。対症療法が中心となります。そこで重要なのが麻疹にかからないことです。すなわち麻疹の予防接種を確実に受け、麻疹に対する免疫をつけておくことが自分の身を守ることにつながります。麻疹にかかったことのある人は感染により免疫があります。麻疹の予防接種を2回受けている人も免疫があります。これ以外の人は免疫がないか、不十分です。人が多く集まる場所や海外旅行に行く場合や、不特定多数の人とかかわる仕事の人などは、麻疹に対する免疫がないもしくは不十分な場合は積極的に予防接種を受けるようにしましょう。(ただし予防接種が受けられない人もいるので、医療機関で自分が予防接種を受けられるか確認してから受けましょう。)

院内感染防止対策委員会の活動について

佐潟荘 看護師長/院内感染防止対策委員 伊藤 誠

院内感染は患者様へ身体的、精神的苦痛を強いられるだけでなく、入院期間の長期化による社会的苦痛を与え、病院や医療従事者に対しても負担を及ぼします。感染管理は病院に関わる全ての人々を医療関連感染から守る組織的活動であり、医療・ケアの質の向上、不必要なコストの削減、業務の効率化を進めるために欠かすことのできない活動です。

佐潟荘では、これらの活動を効果的、効率的に行うために、院内感染対策チーム(以下、「ICT」とする)を設置しています。ICTでは、院内を組織横断的に実働することで、感染対策に関する問題点を把握し、改善策を講じるなど院内感染防止活動を担っています。

ICTの活動には院内ラウンドや環境チェック、職員に対する感染教育などの活動や、市中感染症(インフルエンザ、感染性胃腸炎など)のような突発的な感染症の流行についても迅速にその対策に奔走しています。当院に来られる全ての方に安心していただけるように今後も院内の感染防止対策に取り組んでいきたいと思っております。



感染委員による院内ラウンドの様子

佐潟荘病院祭開催決定！

10月6日(土)に佐潟荘病院祭を開催します。患者さまの作品展示の他、縁日屋台コーナー、赤塚中学校音楽部の合唱や、にいがた総おどり響'連による演舞等様々なイベントを計画中です。詳細が決まり次第、ホームページや院内掲示にてお知らせいたします。

ご期待ください！

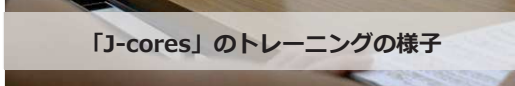
デイ・ケアの就労支援プログラムとは

デイ・ケアセンターはばたき 精神保健福祉士 村山 敏永

就労支援プログラムとは、こういったものなのか説明させていただきます。

「働きたいけど何から始めたら良いかわからない」「自分に合った仕事ってどんなものだろう」「仕事に活かせる自分の強みを知りたい」「苦手なことをカバーする方法を知りたい」「認知機能の向上を図りたい」といった働くことに関心のある方を対象に、認知機能リハビリテーションをし、就労に必要なスキルを身に付け、就労を目指すものです。

その認知機能リハビリテーションとは、「J-cores」というコンピューターソフトとグループ活動によって、記憶力や集中力、問題解決能力を鍛えるものです。実施方法としまして、「J-cores」のコンピューターソフトトレーニングを週2回、各1時間行います。パソコントレーニングの後に、グループ活動を1時間行います。そのグループ活動では、コンピュータートレーニングを上手に取り組むための方法やコンピュータートレーニングで練習したことを、日々の生活や仕事に応用するための工夫を皆で話し合います。



「J-cores」のトレーニングの様子

就労支援プログラムに参加したい方は、主治医へ相談して頂き、デイ・ケアに登録して頂く必要があります。デイ・ケアの精神保健

福祉士が「デイ・ケアの登録手続き・デイ・ケア活動内容・就労支援プログラム内容」について説明します。

就労を目指している方がおられましたら是非とも宜しくお願い致します。

禁煙区域についてお願い

当院では平成30年10月1日より敷地内禁煙となります。下記の図に示された赤枠内が当院の敷地となります。敷地に面した道路や私有地での喫煙もご遠慮ください。特に隣には中学校もありますので、その周辺での喫煙もお控えください。また、吸い殻のポイ捨てなど絶対にしないよう、ご協力をお願いいたします。

